

香川大学教育学部からの出前講座⑦（１年）

を実施しました

１１月８日、香川大学教育学部から小方直幸先生をお招きし、「アリとキリギリスの社会学」という演題で、教育創造コースの１年生にご講義いただきました。



あなたが望む働き方は、
アリそれともキリギリス？



2 択の罠

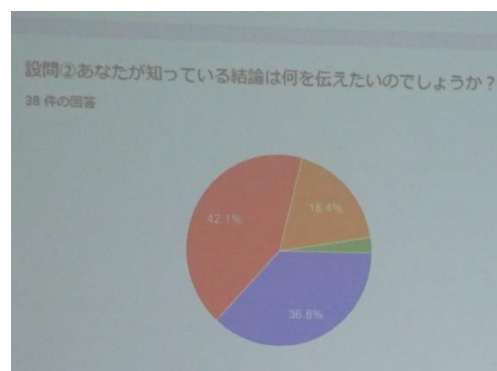
- 2 択の罠とは
- 2 択の罠がもたらす課題
- 2 択の罠の避け方

必要なのは偶然を活かす力

A: 正解や成果を求めるよりも、選んだ道を活かそうとする

B: 予想外の事が起きても、それをチャンスと受け止める

C: 偶然を待つより、自ら動いて偶然が生じるチャンスを増やす



偶然を活かすには、次の５つが大切

- ①好奇心 (Curiosity): 新しく学ぶ機会を探してみよう
- ②持続性 (Persistence): 失敗を恐れず続けてみよう
- ③楽観性 (Optimism): チャンスは必ず来ると信じてみよう
- ④柔軟性 (Flexibility): 考え方や行動を変えてみよう
- ⑤冒険心 (Risk-Taking): 結果を気にしすぎず、まずは行動してみよう



今日は、「社会」の中で生きていく上での考え方についてのご示唆を頂きました。「2 択の罠」によって、知らず知らずのうちに選択肢を狭められていないか。与えられた選択肢以外の生き方を考えることの重要性を教えてくださいました。また、想定外の出来事や偶然を活かして人生を豊かに生きる発想についても新しい視点を頂きました。今日のお話を聞いて、これまでよりも少し自由に物事が考えられそうです。本日は、大変重要な観点をお教えいただき、大変ありがとうございました。